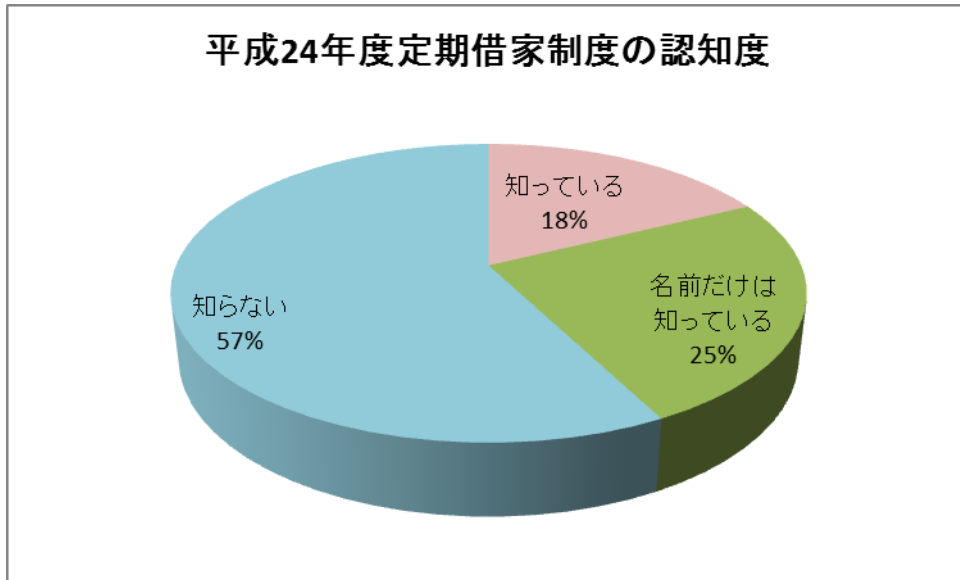


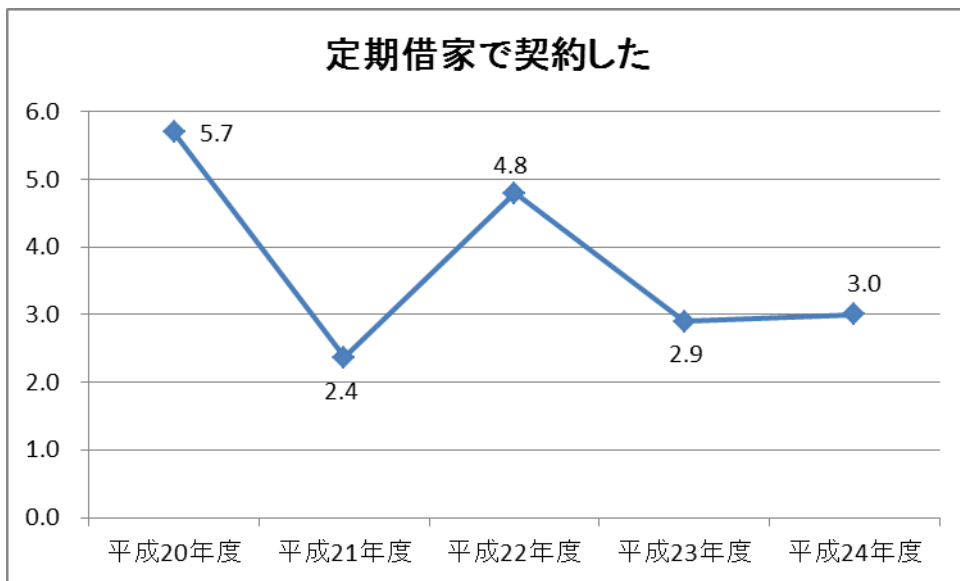
## 定期借家制度の認知度と普及率

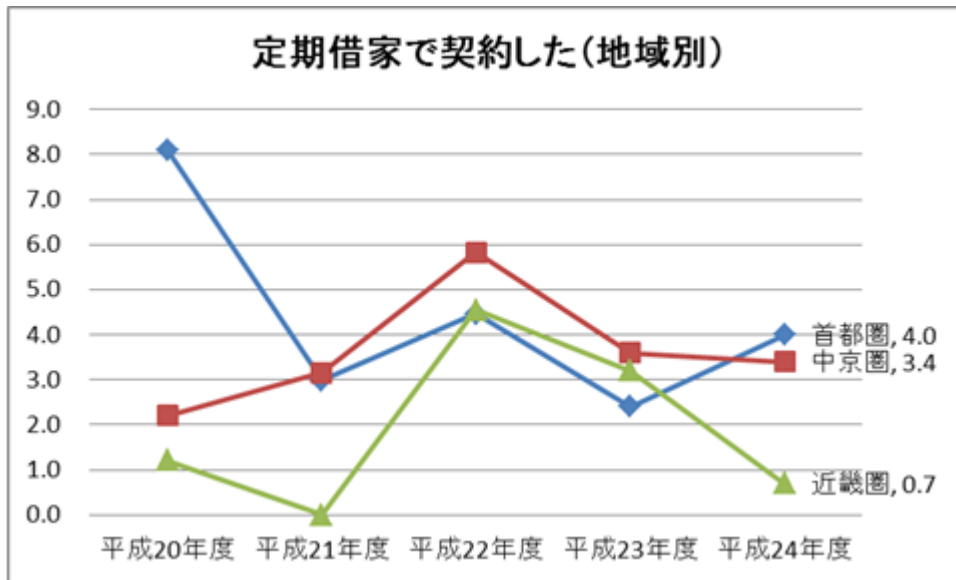
借主側からみた定期借家契約の認知度



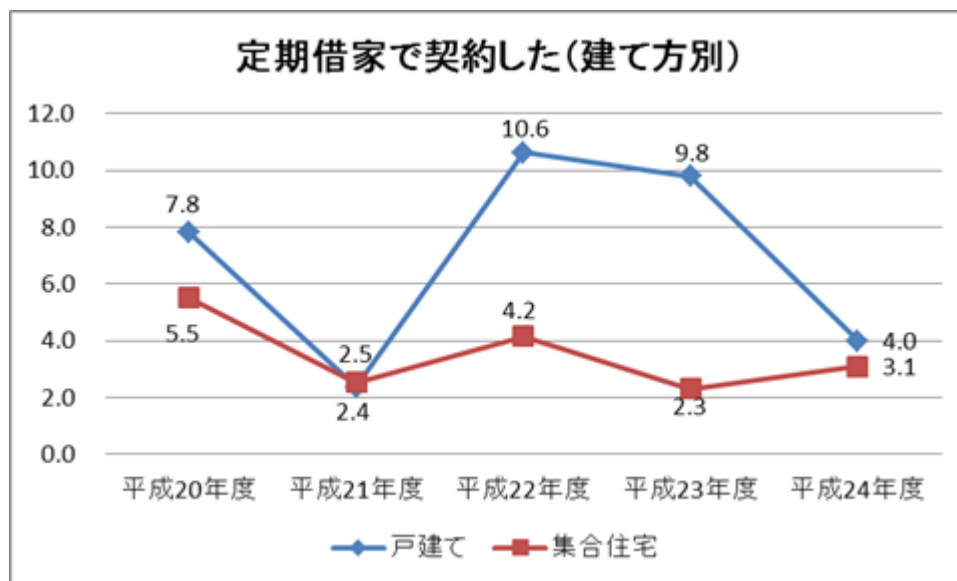
定期借家制度は「優良な賃貸住宅等の促進に関する特別措置法」に基づき、平成12年3月から導入され、すでに導入から13年が経過しており不動産業界で定期借家制度を知らない人はいませんが、借り手側からみた場合は認知度自体がまだまだ低いことがわかります。

定期借家契約で賃貸物件を借りた購入者の割合





定期借家制度は、不動産証券化の拡大に伴い首都圏や大都市を中心に広がっています。上記グラフをみても首都圏での定期借家契約が一番多いことがわかります。逆に近畿圏では定期借家制度が浸透していないことがわかります。



定期借家契約は転勤期間中など一定期間だけ自宅を貸し出すリロケーション物件で利用される場合が多いのが特徴です。戸建のリロケーション物件は特に定期借家契約が多いといわれています。

参考文献等

国土交通省「平成24年度住宅市場動向調査」のデータを基に株式会社リアルプロ・ホールディングスが作成。